

# 謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします

2014年 元旦



# 伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72 - 2465  
H P：jcp上伊那

あけましておめでとございませう

昨年は戦争の足音が聞こえるような秘密保護法の強行成立があり、自民・公明の悪政と国民各層との矛盾が益々大きく広がった年でした。

また、市政では文化施設や学校給食のあり方懇談会、環状南線問題、世界遺産推進など、市民の声を聞かずに独断で物事を進める白鳥市政と市民との隔たりが際立った一年でした。しかし、国政でも市政でも、日本共産党への注目と期待が大きく高まっている事を強く感じた年にもなりました。今年は市長選・市議選の年です。みな様の期待に応えられるように新春から意気高く政治刷新に取り組んでいきたいと思ひます。今年も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願ひ致します。

2014年新春

日本共産党伊那市議団

前沢 けい子(団長)

飯島 光豊

柳川 ひろみ

## 「不安が増すばかり」

市民アンケートから

市民アンケートへのご協力ありがとうございました。

党伊那市委員会が昨年11月からとりくんでいる市民アンケート。12月21日現在158通が寄せられています。

「今でさえ日々の生活費、特に食費を切り詰めている身にはこれ以上の消費税増税は死ね!と言われているのと同じです」「市税など高すぎます。水道料金も」「仕事が高し。

お金入ってこないのに、どうやって国保税など払えというのか。病気になるたらと思うと不安でしょうがない」「小中学生の息子のことを思うと、憲法9条のゆくえが気がかりです。将来、戦争に行かなくてすみますように」など、切実なものが多くありました。

市委員会は住所・氏名のご記入があり急を要するものは訪問し対応しています。今後の活動に活かします。引き続きお寄せください。

日本共産党伊那市委員会



## 地蜂

新しい年、2014年が始まりました。「去年(こそ)今年つらぬく棒の如きもの」とは高浜虚子の名句ですが去年から今年へと途切れなく続く永遠の時間の中でさりげなく新年を迎えた心境を詠んだものでしょうか。新年を迎えると誰しも気持ち新しくなり、「今年こそいい年に」とささやかな願いをこめて人生の新しいページを開きます。正月休みは家族団らんでゆっくり過ごせるうれしい時間ですが、三が日といえどもすぐに過ぎてしまうのが玉にキズ。ところで去年「つらぬく棒」ならぬ「ヤブから棒」のように、秘密保護法というとてもない法律が、世論の反対を押し切って強行採決されました。「何が秘密か、それが秘密」とされ、国民の知る権利を重罰で処罰し、言論や報道の自由を監視するとてもないシロモノ。こんな「棒」は絶対にゴメンです。しばらく前の子供向けのアニメで「秘密のアッコちゃん」というのがありましたが、今「秘密のアベちゃん」という替え歌がうたわれているそうです。いつ、権力による陰湿な監視の目が、私たちの背後に迫ってくるかわかりません。あきらめないでこの秘密保護法を廃止させる闘いを発展させましょう。一月一日から日本共産党の第二六回大会が開かれます。悪政の限りを尽くす時代錯誤の安倍首相とそれを支える自民、公明両党に真っ向から対決している共産党がこの大会を成功させ、平和と民主主義、生活の向上を願う国民と共に、大きな力となって明日の時代を切り開けるよう新年の夢はふくらみます。

(W)

市長・市議選を前にして

# 合併後の長谷を考える

「合併」を  
問い直す  
特集

長谷の浦地区から伊那市役所まで29キロ、車で約40分。「役所が遠くなって大変」などと長谷の人々は嘆いています。

長谷では7年前の合併の時は期待や希望を抱いた人もありましたが、合併後は、殆どの人が、合併していいことが無かったと思っています。

## 合併していいこと無し

「合併前の伊那市の水道料金の赤字分を負担させられている」

「合併前は高齢者を集落ごとに把握し安否確認や相談事など、きめ細かく対応していたが、合併後は把握も充分できなくなつた」「紙おむつの補助や介護慰労金などが減額され、さらには、行政から区への



長谷溝口の熱田神社  
(重要文化財)

補助金も減額され、区の運営にも苦勞するようになった」などの声が寄せられています。

## 暮らしやすいまちに

長谷地区の人口は急激に減少し高齢化がすすんでいます(表参照)。

### 長谷の人口推移

年	人数
平成元年	2541人
平成18年	2176人
平成25年	1940人

「買い物や通院のバスは、路線の延長や便数を増やし、料金を下げしてほしい」「デマンドタク

シーが大通りまでしかきてくれない。足が痛いので家の前まで来てほしい」「近くにあったお店が閉めたため買い物は高遠や美篤まで行かなければならない」「80才になるが道路の雪かきは何とかしてほしい」など、高齢者の要望は切実です。

今年4月に市長・市議選挙が行われます。住民に寄りそい、要望の実現に向けて取り組みを強めなければなりません。(日本共産党長谷支部)

## 「住民が主人公」のまちづくりを

### 田中前木曾町長語る のぞみの会が講演会

伊那のぞみの会は、12月15日J-A上伊那フラワーパレスで、田中勝己前木曾町長の講演会を開催しました。田中さんは「住民が主人公のまちづくり」を信念に取り組んできた町政について熱く語りました。

町議時代に村おこし運動に携わった経験から「町民が主人公でなければ、まちづくりはできないと思った」と語り、



勉強家でもある田中前町長

また「元氣な町にしてほしい」との町民の要望に、「町民みんなでまちづくり計画を作ろう」と提案し町民に呼びかけたところ、96人が集まり、1年をかけて町政の研究、分析をし、まちづくり計画を作成したこと。町民の公共交通システムなどについてリアルに話しました。また「町長の権限を小さくして町民の権限を大きくする」ための地域自治組織づくり、情報公開の徹底、木曾町まちづくり条例なども紹介しました。

講演を聞いた40代のSさんは「木曾町はすごい、町長の姿勢で町が明るく活気づいて頼もしいですね」と語っていました。田中さんは、木曾福島町議を経て木曾福島町長と町村合併後の木曾町長の4期にわたって町政を担当、昨年の11月に退任しました。

## 「はだしのゲン」で 改めて平和の大切さを実感 上伊那平和の集い

12月6日、上伊那原水協と母親連絡会主催の「上伊那平和の集い」が南箕輪村民センターで開かれました。長崎での原水爆禁止世界大会参加者から報告や感想が寄せられ、「はだしのゲン」のアニメを上映。また、原爆パネルの展示も

最近、ある自治体の教育委員会が、内容がきつ過ぎるとの理由で、漫画単行本を子供に見せないことを決めて批判を浴び、注目を集めた「はだしのゲン」ですが、映画を観ることで、改めて原爆被害の実相を知り、平和の大切さを実感し、戦争は絶対起こしてはいけないという決意が参加者に広がった集いになりました。



# 秘密保護法撤廃めざして

## 各地で反対運動続く

上伊那医療生協や民主商工会、日本共産党上伊那地区委員会など9団体で構成する「特定秘密法阻止上伊那実行委員会」による特定秘密法案に反対する集会在、昨年暮れ「いなつせ」北側広場であり約140名が集まりました。

「秘密保護法」に国民の大多数が慎重審議を求め、法曹界・学会・メディア界・出版会などさまざまに分野から大きな反対の声が起こっている中で行われた集会でした。

同実行委員会構成団体の代表らの反対、阻止のあいさつの後、伊那北駅まで反対のアピールをしなからデモ行進しました。

また、12月6日には日本共産党伊那市議団を中心にアピタ前で参加者約20名で反対の緊急集会を行いました。当日は秘密保護法案をめぐってのヤマ場を迎えた国会へも、4名の代表を送りました。

その後、全国各地でも秘密保護法撤廃を目指して行動が行われていますが、伊那市でも日本共産党の各支部を中心に特定秘密保護法の撤廃を求める署名や宣伝が行われています。



通り町に行くデモ参加者



## 憲法違反の法律は許されない

飯島光豊

国民多数の反対を踏みにじり、暴挙につぐ暴挙を重ねたつえに、「特定秘密の保護に関する法律」が12月6日に参議院で可決された。しかし、この法律の基本の骨格

自体が国民主権、基本的人権の尊重、平和主義という日本国憲法の基本原理を根底から崩す、極めて危険な違憲のもの。いくら政府与党の多数で可決されたといえども日本国憲法に反する法律は許されないし、法律は廃止しかない。

# 消費税増税阻止！ 各界連が行動

民主商工会、新婦人の会、民青同盟などが参加している各界連絡会は、「消費税増税阻止」の宣伝行動を毎月行っています。昨年12月は15日にアピタ店前で宣伝・署名集めの行動にとりくみました。署名した女性は「安倍さんはどこまで上げたら気がすむのか、くらしが大変になるばかり。8%なんてとんでもない」と怒っていました。各界連では、増税をくい止めるため行動を強化していきたいとしています。

伊那市議会で日本共産党市議団は、法律の廃止を求める意見書を提案した。残念ながら否決はされたが共産党議員3人に加え他の3人の議員も賛成した。議論が不十分のまま成立したと認めた上での保守党派の意見書の小手先のこまかしを受け入れるわけには行かない。

国民世論は、法律の制定後も、今後どうすればよいかの問いに修正・廃止の意見が82%（共同通信）にも上っている。安倍政権がこの世論から逃げ切ったと考えるなら大間違い。安倍内閣の支持率の急落がそれを示している。希代の悪法を更に多くの人たちには知らせ撤廃させなくてはいけない。



自分の責任は？  
悪は長生きできない

建石繁明(6)

論文のデータ改竄、食品虚偽表示、R北海道による測定値の書替えなど、内部告発による不祥事件が次々に明るみに出ている日本ですが、このような情報が開示されないとしたら大変なことになります。

国民の目と耳と口をふさぎ、真実を知ろうとする表現の自由を奪う「特定秘密保護法」は国会を通過成立してしまいましたが、この希代の悪法を使わせてはいけません。「何が秘密にあたるのか」もあいまいです。「秘密」の期間が「原則60年」とされ、私たちが生きている間に、秘密とされたことが正しかったかどうかも判断できません。

でも、この状況を許したのは、ほかでもない私たち国民の一人一人の責任です。民主主義の原則は、正当な選挙によって、選出された議員により、多数決原理によって法律が決定されます。多数の横暴によつて歴史が変えられた事例は無数にありますが、悪はまた長続きしないことは歴史が証明しています。



# 随想

## 右傾化を危惧

伊那市長桂寺任職 内藤英昭

送臘迎春種月山

紛紛天下轉多艱

右傾危懼独空懷

只管行持心自閑

臘を送り春を迎う種月山

天下紛紛々として転艱多し

右傾を危懼して独り空しく懷む

只管に行持せは心自ら閑かなり

今年正月の年頭の所感の漢詩です。右傾の危懼は今や本物となつてしまいました。

特定秘密保護法案は強行採決され、国民の知る権利は危つくなり、第三者機関でチェックするそつだが、内閣府内に設けられるらしく独立性は怪しい限りだ。

原発も続けられ、それどころか増設も視野に入れている様子、よせば良いのに危険な原発を外国へ売ろうとさえしている。どうしようもない高レベル放射性廃棄物の処理さえままならないのに。

やがて武器輸出三原則も破棄され、憲法改正し、世界に誇れる平和宣言である憲法九条もなくなり、集团的自衛権も認められそつな気がしてなりません。

仏陀は法句経(初期の原始経典)で『すべての者は暴力におびえる。すべての生きものにとって生命は愛しい。己が身にひきくらべて殺してはならぬ。殺さずしてはならぬ。』(130)と説いている。

曹洞宗も「原発に頼らない安心できる社会の実現に向けて、省エネの為の取り組み推進を求める決議文」を採択している。

有名な瀬戸内寂聴師も「改憲反対原発は仏の教え」と宣言している。

誠にその通り、目先の経済優先に騙されず仏教徒は反暴力反戦争で結束したい。

# 絵手紙



東春近 渡辺佐智子

# フォト トピックス



12月8日、広井暢子共産党副委員長を迎えて男女平等について講演会が行われました。共産党上伊那地区の女性部と女性後援会が主催。約70人が参加しました。

# 催し案内

「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時30分

\*1月3日もおこないます

いなつせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(79 8702)

子育て・保育を考えるみんな

の学習会

1月13日(月) 午後1時半～3時半

「いなつせ」501号室

講師 宮田克思氏

主催 「つくしんぼ保育園園長」

「子育て・保育を考える会」

連絡先 荒 (74 1255)

(090 5502 9996)

日本共産党上伊那地区

党旗びらき

1月11日(土) 午後3時～5時

西町公民館

会費 1000円

主催 共産党上伊那地区委員会

司法書士の無料法律相談会

1月23日(木) 午後7時半

上伊那民商事務所

(72 0550)

飯島光豊後援会「新春のこころ」

2月2日(日) 午後3時

渡場すこやか館

連絡先 渡辺光博 (72 4748)